

6月19日 | 動いて笑って健康長寿

島田市第二地区福祉の会が、恒例の「健康長寿ふれあいの集い」をローズアリーナで開催し、約140人のお年寄りが参加しました。

参加者は10チームに分かれて、ひもの付いたゴムボールをはしごに投げて引っ掛けるニュースポーツ「ラダーゲッター」に挑戦。選手はボールを投げる度に一喜一憂し、会場内には歓声と拍手が沸きました。



6月8日 | 歯の健康を鏡で再確認

歯科保健への関心を高め、健康づくりの推進を目的に、保健福祉センターはなみずきで「歯の市民フェスティバル」が開催されました。

80歳で自分の歯を20本以上残す「8020コンクール」表彰式のほか、歯科相談やフッ素洗口体験など多彩な催しを実施。歯のブラッシング指導では、参加者が歯科衛生士の指導を受けながら、正しい歯の磨き方を実践しました。

6月25日 | 泥だらけで園児いきいき

六合幼稚園の年中児と年長児約40人が、東町の田んぼで「どろんこ体験」をしました。

Tシャツと短パン姿に色とりどりの水泳キャップをかぶった園児たちは、少し冷たい泥にもすぐに慣れて、水しぶきをあげながら笑顔で大行進。その後も、駆けっこやボール遊びに興じる子どもたちの「楽しい」「気持ちいい」という歓声が、田んぼに響いていました。





5月30日 | 早く育ってお餅になあれ

島田中央幼稚園の年長児約120人が、落合の水田で田植えを体験しました。

園児たちは、靴下のまま水田に入ると、最初の一步から大はしゃぎ。もち米の「スルガモチ」の苗を手で一列に並ぶと、泥の感触を楽しみながら、手植えに挑戦しました。収穫は10月。稲刈り後に赤飯にして全園児で味わうほか、年末の餅つき大会でも同じお米を使う予定です。

7月1日 | 川根路の活性化に期待

大井川流域の観光拠点として市が整備を進めていた「川根温泉ホテル」が、待望のグランドオープンを迎えました。

竣工式には、関係者約100人が出席。続くアトラクションでは、赤石太鼓保存会の皆さんが勇壮な演奏を披露しました。「川根路」の沿線、川根町笹間渡に位置する同ホテルは公設民営で、今後は地域活性化や雇用創出、定住促進などへの効果も期待されています。



6月17日 | 交流の思い出をお土産に

市の姉妹都市である米国カリフォルニア州リッチモンド市から友好親善使節が来島し、染谷市長を表敬訪問しました。

(写真右から) ライリー・ミヤシロさん、メアリー・クンツ・コテさん、リアナ・ニューさんの3人は、6月13日から7月10日まで市内の家庭にホームステイ。学校や企業を訪問したほか、英会話教室や交流会などの活動を通して、多くの市民と触れ合いました。